

令和5年度 地産地消部会 活動報告

●個別施策1 農業体験等を通じた食と農の理解促進

①農業体験や生産者との交流による食への感謝と農業への理解促進

J A青年部等の協力により学童農園事業を実施し、田植えや稲刈りなど体験を通して、児童の食への感謝と農業への理解促進に向けた支援をしました。

また、ふるさとくるめ農業まつりにおいて、農業・農産物の情報発信、地産地消推進店の出店等を行うとともに、市場まつりにおいても地産地消推進店を出店し、食と農への理解促進に努めました。



(市内小学校での学童農園事業)



(農業まつりでの地産地消推進店の出店)

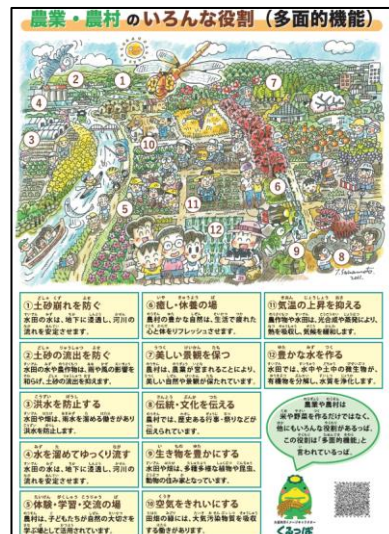
②農業・農村の持つ多面的機能の理解促進

市立中央図書館やふるさとくるめ農業まつりにおいて、農業の多面的機能を明示したパネルの展示やチラシの設置を行い、市民への啓発を行いました。

市内の小学6年生2,843人を対象に、久留米産農産物である「藤山なし」を配付するとともに、農業・農村の多面的機能を紹介したチラシを配付して、周知及び理解促進に努めました。



(小学校での「藤山なし」の配付)



(多面的機能紹介チラシ)

●個別施策2 地産地消の推進

①久留米産農産物を購入しやすい環境整備

「キラリ久留米」や「くるっば」のロゴマークを久留米産農産物の包装資材やシール作成に対して支援を行い、久留米産農産物を認識しやすくするとともに、市内スーパー、マルシェ等での地場産農産物販売コーナーの表示を強化するため、PR資材やPR動画を放映できるモニター等を設置した。

また、地産地消推進店のPRチラシを作成し、広報くるめ(8月号)に折り込み、全戸に周知するとともに、公共施設等にも配布した。



(博多駅マルシェでのPR資材の使用)



(地産地消推進店 PR チラシ)

②地産地消の意識啓発

市庁舎1階ロビーで、食育月間(6月)や野菜の日(8月31日)にあわせて、地産地消動画の放映やリーフレットの設置を行い、市庁舎を訪れる人へ周知を図った。

そして、食生活改善推進員協議会と連携し、料理講習会を開催し、久留米産農産物を使ったメニューを作り、地産地消の意識向上につなげた。



(市庁舎1階ロビー食育月間の啓発展示)



(食生活改善推進協議会と連携した料理講習会)